

校長室の窓から 60

070603 「心を使って」あさがおの観察

1年生の教室では、ぐんぐん大きくなったあさがおの様子を見て話し合いが行われていました。

雨であさがおの葉が濡れていましたが、慎重に鉢をもち新聞の上にそっとのせて子供たちはあさがおを観察しました。

「葉が大きくなって、いっぱい増えた」

「小さい葉はつるつるだけど、大きい葉はざらざら」

「前は、ハートの形だったけど、今はちくちくの形」

「ひとつの茎から、いっぱいに分かれてきた」

など、思い思いに見つけたことを話していました。

担任の先生が、子供の発言一つ一つや、友達の意見を聞く態度に、シャワーのように褒め言葉をかけておられた姿がたいへん印象的でした。

「すごいね、そんなこと気付いたの」

「よく見てるね、すばらしい」

「おもしろい表現だね」

「今、すごいこと言ってくれたね」

「すぐ顔上げてくれた人、ありがとう」 etc.

こんなふうにはめられたら、発表するのが楽しくなりますね。



今日の授業では、目や手触りだけでなく、耳や鼻、心を使って観察することを学んだ子供たち。観察カードを書く際には、「一番伝えたいことをタイトルに入れましょう」という新たな課題が出され、自分なりの思いをタイトルの言葉にする姿もありました。



「心を使って観察する」

素敵な言葉です。あさがおの観察を通して、「もっとこうなってほしい」という自分なりの思いにも気付くことができましたね。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり